



国内産木材の利用推進

風が心地よい季節です。皆様お元気でしょうか？

●横浜市の木材の利用推進

以前「公共建築物の木造化」を推進したいと、このレポートに書かせていただきましたが、横浜市は、「横浜市の公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」を3月に策定しました。平成26年度に建築設計、工事発注を行うものから適用されます。横浜市が整備する保育園や老人ホーム、地区センターやコミュニティハウスなど、市内全ての公共建築物は、低層建築物を中心に可能な限り木造で建設されるか内装等が木質化されることとなります。これは、非常に画期的なことだと思います。使用する木材も神奈川県産木材を中心に関東甲信越地方や静岡県で生産されたものとし、確保が困難な場合でも国内産材を使用することを定めています。

●国内産木材を使おう

日本は国土の7割が森林であり、フィンランドやスウェーデンと並ぶ森林大国でもあります。しかし、木材自給率は約3割、国内で使用される木材は7割を外国から輸入しています。一般的に、森林を守るために「木を使わない」と誤解されることがありますが、海外で見られる違法な伐採ではなく、日本の人工林のように管理された森林では、「木を使うこと」によって森林を守ることができます。政府は2020年までに木材自給率を50%にする目標を掲げていますが、そのためには、公共建築物をはじめ、民間にも国内産木材を利用することを推進しなければなりません。また、国内産木材を利用した家具や食器などを普及させることも大切だと思います。

森林は苗木を植えてから15～20年以上経ち木々が成長してくると、林の中が混み合って枝葉を広げづらくなりお互いに成長を阻害してしまいます。そこで一部の木々を抜き伐ることによって空間をつくり、より多くの光をあてて木々の成長を助けます。これを「間伐」といい、このとき抜き伐った木（間伐材）を使うことは森

林を守り活用することにもなります。森林を守るために割り箸は使用すべきではないといった議論がありましたが、日本で使用されている割り箸のほとんどは中国から輸入されているようなので、国内の間伐材を使用した割り箸であれば、これを使うことが日本の森林保全につながるため、ぜひ使いたいものです（既にデニーズ等の外食チェーン店やコンビニエンスストアで取り組みがなされています）。

●地産地消で森林を再生

今回の「横浜市の公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」では、木材利用の普及・PRの推進も定めています。公共建築物に関しては、国内産木材を使用するよう私もがんばりたいと思いますが、最終的には市民の皆様の行動が大切だと思います。例えば、車で遠くの大きなスーパーで買い物をするよりも地元の商店街で買い物することは大きなことです。お店の人と顔見知りになることは助け合いや安全安心につながるとともに、地元の商店街の活性化にもなります。家を建てる時にも、国内産木材は輸入材に比べれば価格が高いといわれますが、将来の日本人のために、内装の一部だけでも国内産木材を選択していただければと思います（私もいつか国内産木材の家に住みたいと思います）。

ただ単に安ければよいといった価値観はそろそろ見直す時期に来たのかもしれませんが。先日、区役所で開催された藻谷浩介先生による「里山資本主義」の講演を聴いてもそう感じました。世界に目を向けると、スイスで建設された7階建ての木造ビル（ツェルン）の設計者は日本人です。現存する世界最古の木造建築物「法隆寺」を1400年前に建てたのも日本人です。日本が耐火性・耐震性に優れた木造建築技術で世界をリードし、国内産木材をたくさんの建築物に使用することによって、日本の森林を再生させたいと思います。

皆様のご意見をお待ちしています。

横浜市議員 古川なおき

古川なおきプロフィール

県立希望ヶ丘高校・明治大学 卒業/明治大学公共政策大学院 修士
横浜銀行勤務後、衆議院議員秘書
平成7年4月 横浜市議員初当選(26才最年少)
現在 平成25年 水道・交通委員会副委員長
孤立を防ぐ地域づくり特別委員会
自民党横浜市議員団所属/横浜市会FCキャプテン
希望ヶ丘高校同窓会桜蔭会 理事
旭区サッカー協会顧問/旭区スポーツダンス協会顧問
旭区卓球協会顧問/旭区食品衛生協会顧問

みんなで健康増進！& 市政について気軽に語り合いませんか？
政務調査活動の一環として「市民の皆様のご意見を」「直接うかがう」



朝ウォーキング



日時：5月24日(土) 8時～9時30分

集合場所：こども自然公園（大池公園）正面入り口

★参加される方は、当日直接、集合場所にお集まりください。雨天中止です。

「大災害時 飲料水はどこで手に入るの？」

横浜市水道局 2014 災害対策強化企画

スイスイまっぷをご活用ください！

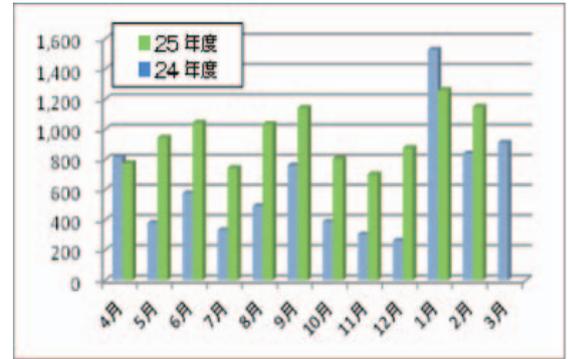
アクセスが1万回を超えました！
(25年度4月～2月末)

水道局では、災害に備えた市民・事業者の自助の取組として、「ご家庭や職場において、ひとり最低3日分で9リットル」の飲料水備蓄をお願いしています。さらに大災害時に備蓄9リットルを使い切ったときなどのために、市内515か所に共助を支える「応急給水拠点」を設けています。この拠点の位置は、水道局のウェブサイト「スイスイまっぷ」で簡単に検索できますので、ぜひ普段からご家族や職場での確認にご活用ください。

「スイスイまっぷ」は、平成24年3月から運用を開始した、全国初の応急給水拠点地図検索システムです。スイスイと簡単手軽に、応急給水拠点を地図検索できることから、「スイスイまっぷ」と命名しています。応急給水拠点には「災害用地下給水タンク・134基」「配水池・23か所」「緊急給水栓・358か所」の3種類があります。

1 「スイスイまっぷ」へのアクセス状況

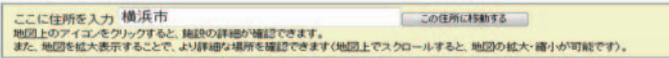
24年度の年間総アクセス数は7,600回でしたが、25年度は12月時点でこれを抜き、2月末時点で既に1万回を超えるアクセスがあり(前年度同時期累計比1.6倍)、多くの方に利用いただいています。



スイスイまっぷ 月別アクセス数

2 「スイスイまっぷ」の使い方

- 検索エンジンで「スイスイまっぷ」と入力し、水道局内のサイトに入ります。
- 住所欄に横浜市以下の任意の住所を入力してください。



- 周辺地図とともに、付近の応急給水拠点が3種類のアイコンで表示されます。地図は拡大・縮小が自在で、当該拠点の正確な位置が分かり、周辺道路も把握できます。さらに航空写真や歩行者視点写真にも切り替えられるので、現地の状況や雰囲気も把握しやすくなっています。

「古川なおき事務所でのインターンシップを終えて」

駒澤大学法学部政治学科3年 佐藤侑平

私は、将来、社会人として社会に出るまえに身につけておかなければならないことを身につけるため、また将来自分が就きたいと思えるような仕事の参考になるような経験をしたい、コミュニケーション能力を向上したいと思い古川なおき事務所でのインターンシップに参加をしました。

インターンシップを通して古川なおきさんをはじめ、いろいろな方に出会うことができました。そのような方達と接するなかで自分の小ささ、甘さを知りました。自分が将来の夢がないと葛藤している中、45歳のなおきさんは「毎日ワクワクしている。お前もそういう人生送れ。一生懸命生きろ。若いうちはいくら失敗してもいいんだ。」と、熱弁されました。まだ若干20歳の大学生が将来の夢がないと悲観しているなか45歳の大人が夢のために毎日ワクワクして日々を送っている状況に羨ましく、また、悔しくもなりました。なおきさんとの会話の中で多くの刺激を受け、考え方や価値観が変わりました。古川なおき横浜市議員事務所の関係者と出会ったことで人生の転機となったことは間違いありません。

活動の内容は主に、駅頭、ポスティング、陳情対応、地域活動等でした。ほとんどの時間をスタッフの塚本さんと過ごさせていただきました。駅頭は6時30分から始まるため、始発に乗って行きました。正直、始発に乗り駅頭に参加をすることは大変なものでありました。しかし、古川なおきレポートを配布している際にたった一言「ありがとう」や、「おつかれさま」と声をかけていただくことだけで、「今日も駅頭に来てよかった。今日も1日頑張ろう!」と温かい気持ちになれました。人はたった一言で心が温かく、または意気消沈してしまいます。「ありがとう」や「おつかれさま」と声をかけてくださって心が温かくなったことで、言葉って本当に大切なものであると再認識することができました。

なおきさんは、選挙があるないに関わらず1000回以上駅に立ち、継続してレポートを配布していました。暑い日寒い日がある中、26歳で市議員に立候補し約20年に渡って市政に携わるには、こういった努力の積み重ねが大切なのだ実感しました。このことを自分に照らし合わせたとき、自分はまだまだ何の努力もしていない、何かを学ぶ努力も、思いっきり遊ぶ努力さえもしていないと気づき、今後に活かしたいと思うことができました。

スタッフの塚本さんとはインターンシップ中に何をどんな風に伝えたいか等を中心に話し合いました。塚本さんは自分の人生経験等を踏まえながらアドバイスをしてくださいました。インターンシップを通して習得したかった「自分の意見をはっきりと伝える」というコミュニケーション能力向上のためのヒントを得ることができたと思います。

地域活動ではさまざまな分野の方々とお会いすることができました。経営者や人の上に立つ人に共通していることは『紳士である』ということです。すべての方が学生の自分にも笑顔で対応してくださいました。努力の積み重ねによって、成るべくして経営者や人の上に立つ立場になっているのだと感じました。

インターンシップを通して、自分を見つめ直し人生の転機となるような経験をすることができました。世界を相手に仕事してみたいという将来の夢を見つけることもできましたし、これからの自分がどのように生きるべきかわかったような気もします。毎日が学びの日々でした。本当に古川なおき横浜市議員事務所でのインターンシップをさせていただいてよかったと思っています。この事務所で学んだこと『紳士たれ』や、『継続すること』を今後の人生の最低限の信条として失敗を恐れず、古川なおき事務所学んだことを糧にいつか本物の『紳士』になれるように一生懸命、日々ワクワクして生きていきたいです。

古川なおき政務調査事務所

FAX: 045-366-9700 / TEL: 391-4000

E-Mail: jm@furukawa2002.com



<古川なおき事務所>

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1

相鉄線希望ヶ丘駅より徒歩6分

